

防災について

【ご意見】（令和6年9月5日受付）

数年前の台風 19 号の時、埴生中学校へ避難する途中、浸水がひどくて進めず、家に戻りました。

今回の台風 10 号時に洪水の災害マップを見ると、(堤防が崩れたら)浸水が5～10 メートルになり、もし避難するとなるとどんな経路になりますか。

また、防災の事前計画の相談窓口はありますか。

「避難しなくてもよい、家の2階にいれば大丈夫」との声もよく聞きますが、本当でしょうか。

防災について詳しいことを各公民館で研修や説明をするのはいかがでしょうか。(地域によって違うところもあると思います。)

このたびは貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございます。お寄せいただきました内容につきまして、下記のとおりご回答申し上げます。

【回答】

避難の経路等については、市よりお配りしている防災ガイドブック（洪水・土砂災害マップ）で、ご自宅周囲、避難所を確認いただき、危険箇所や冠水で通ることのできない場所を避けた避難経路等をご検討ください。

また、水害だけでなく、地震発生時も想定した避難計画（マイタイムライン）を事前に作成するなど、災害への備えをお願いいたします。

避難所については、災害時にすべての指定避難所が開設している訳ではありませんので、警戒情報や避難所の開設状況など、市から発信する情報をご確認いただき、まずは市が優先して開設する避難所（市内 13 小中学校、ことぶきアリーナ千曲、ふれあい福祉センター）の利用をご検討ください。

なお、防災ガイドブックの洪水・土砂災害マップは、千曲川が破堤（決壊）した場合の最悪のケースを想定しております。その場合は近隣の避難所は利用できなくなる可能性がありますので、広域避難等も含め、市から逐次情報発信をいたします。

自宅の2階への避難ですが、土砂災害や氾濫流による家屋倒壊のおそれもありますので、避難所等に避難する暇がない場合の最終手段とお考えいただき、原則としては避難所等への早期避難をお願いいたします。

また、防災に関する研修・講座につきましては、生涯学習出前講座に防災メニューを設けてありますのでご活用ください。（申請書は市ホームページからダウンロードできます。）

担当 危機管理防災課